

地盤沈下の問題



提案など

市では、1年に約1.1cmの地盤沈下が起っています。そこで、1㎡につき1つ穴をあけ、樹脂を注入していくサンドゲル工法という方法を提案します。この方法は、比較的狭い範囲で短い工期で行えます。しかも、南魚沼市の環境にも優しい方法です。主に針葉樹から取れる樹脂やプラスチックで作る合成樹脂でも可能です。費用を抑えて改善できると思います。

市長から

地盤沈下は大変な問題です。六日町地域は、約30年前に条例という町の決まりを作って、平成29年まで井戸を掘らせませんでした。若い人たちは井戸が掘れる郊外に家を建てるようになり、まちの中から人が少しずつ減ってしまいました。この状況を改善するために、さまざまな方法を試し、平成29年10月から地下深くから取水する井戸の設置を許可することにしました。今のところ、心配したほどの地盤沈下は起きていません。提案してもらった方法などを勉強して、何とか沈下量を少なく抑えつつ、生活も守っていくように取り組んでいきます。



娯楽施設などを増やして人が集まるように



提案など

いつでも、だれでも行ける遊び場所がほしいと考えています。今ある施設にいろいろ追加して、どんどん増やしていけば、建物から作らなくてもいいと思います。また、使わなくなった施設をリフォームすれば、自分たちが通っていた学校なども壊されずに済みます。どちらも時間がかかること、お金がかかることが難点です。南魚沼市は自然がたくさんあるので、自然を使った娯楽施設をつくるのもいいと思います。

市長から

以前、高校生や中学生にアンケートを行ったときにも、今のような意見が一番多かったです。これも難しいテーマです。市がショッピングモールのような施設を作ることはできなくて、商売をする民間の会社が作ります。人口が減れば店がだんだん無くなっていくことにつながるので、市はそうさせない方法を考えて、取り組んでいます。道を整備したり、生活環境がよりよくなっていけば、市内にいろんなものを作ろうという会社が出てくると思います。まち自体が元気じゃないと、施設を作ろうという人たちが出てきません。何とか元気なまちを作っていきたいと思います。

南魚沼にしかない遊び場を



提案など

南魚沼市は、自然が多いので、その自然を使ってアスレチックやジップライン、公園などの遊び場を作ったらおもしろいと思います。他の市や県では、大きな遊び場などがたくさんありますが、ぼくたちは南魚沼市に住んでいるから、南魚沼市にしか作れない遊び場を作ったら若者が集まると思います。

市長から

小栗山のスケートパークに行ったことはありますか？みなさんよりも先輩の若い人たちからのお願いで、初代市長の時に作ったもので、どこにでもあるものではありません。石打丸山スキー場にあるハーフパイプも市が作りました。県外から子どもたちが移住してきたり、市が用意した寮のようなところに住み込んで世界をめざしている人もいます。外の遊び場は、いつか作ってみたいと思っているので、構想があれば教えてほしいです。

